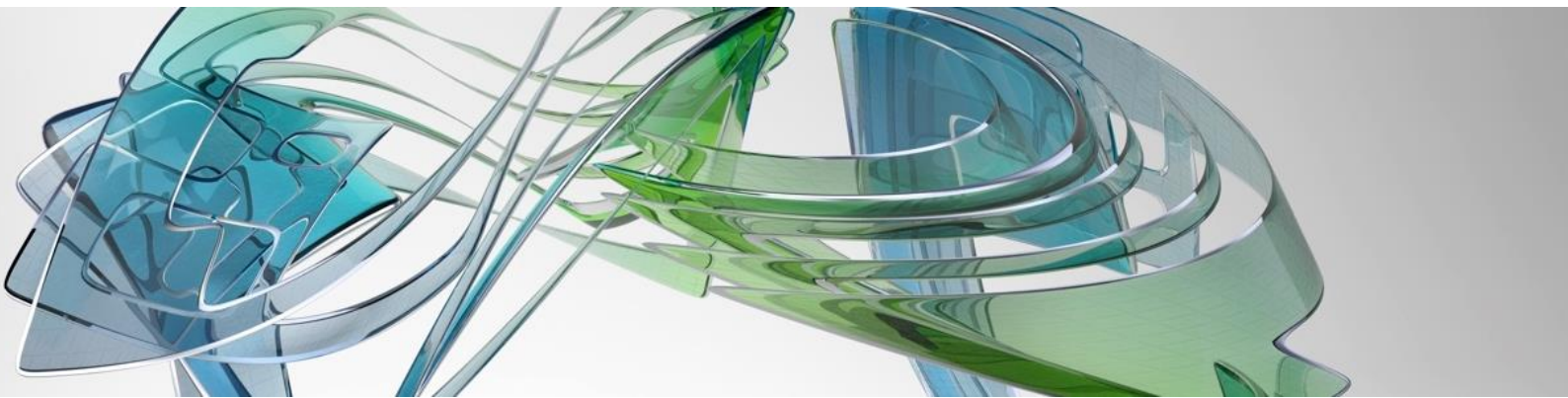




**技能五輪及び若年者ものづくり競技大会における
AutoCAD 図面印刷設定方法**

Revision 1.0

オートデスク株式会社

変更履歴

Revision	日付	担当	内容
1.0	2015年8月24日	オートデスク	新規作成。

目次

本資料の目的	4
1 AutoCADの印刷設定	4
1.1 印刷ダイアログボックス	4
1.2 プリンタプロッタ	4
1.3 印刷スタイルテーブル	5
1.4 その他の設定	5
2 AutoCADのページ設定	6
2.1 ページ設定 ダイアログボックス	6
3 補足資料	8
3.1 印刷スタイルテーブルの場所	8

本資料の目的

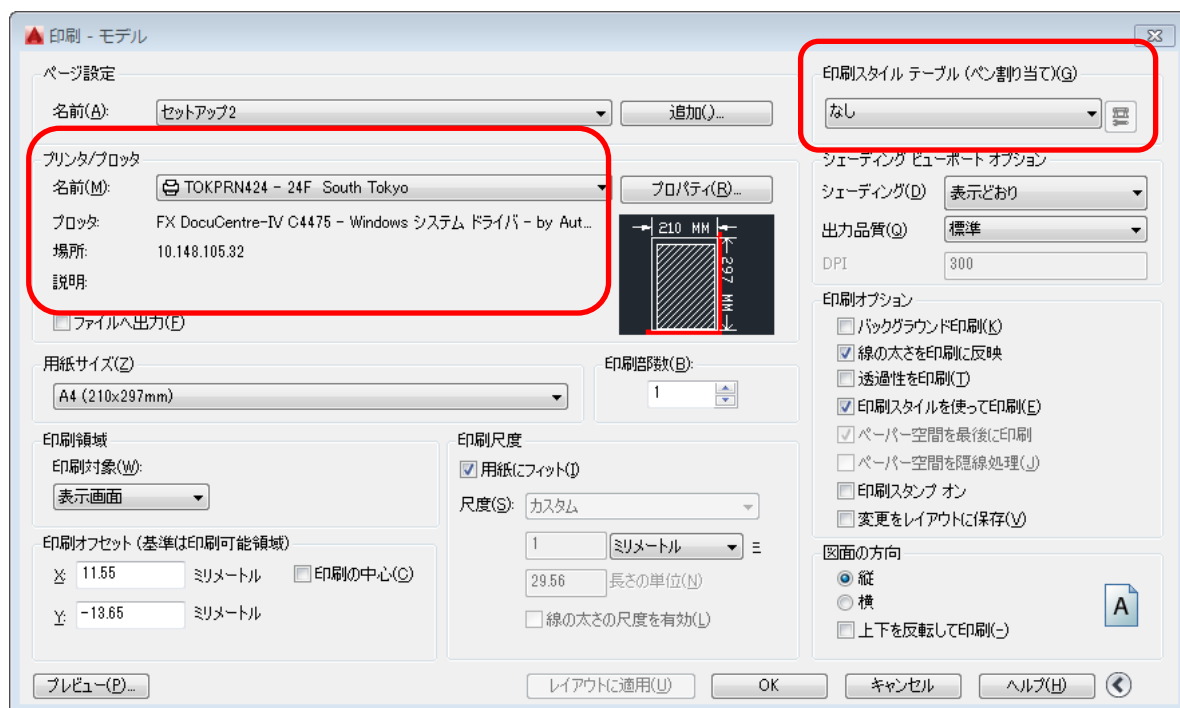
技能五輪および若年者ものづくり競技大会の機械製図（CAD）職種では、AutoCADを使用して課題の印刷を行います。各競技者の印刷設定方法の違いによって印刷結果に違いが起きないように、印刷用のAutoCADには大会用に独自の印刷設定を施しています。大会当日での印刷作業を円滑に行うため、正しい印刷設定の方法について説明します。

1 AutoCAD の印刷設定

大会当日、AutoCADで印刷を行うに際し、必要な設定を以下に説明します。各機能の詳細な内容は、ヘルプを参照下さい。

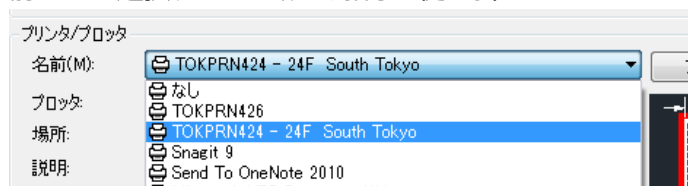
1.1 印刷ダイアログボックス

印刷を行うために、印刷用のコマンドを実行すると、図の様なダイアログボックスが表示されます。大会当日は、プリンタ/プロッタの個所と印刷スタイルテーブルの個所を大会用の設定に合わせる必要があります。



1.2 プリンタ/プロッタ

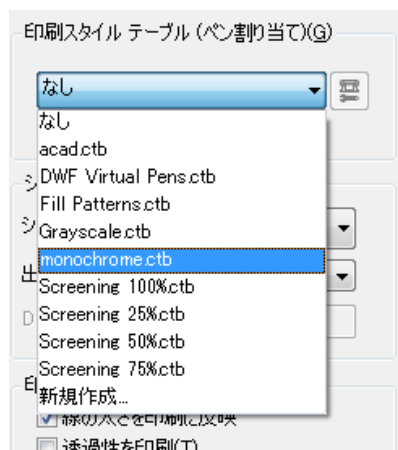
大会用に用意されたプリンタ/プロッタの名前がドロップダウンメニュー上に表示されていますから、それを選択します。プリンタ/プロッタの名前をどれに選択すればよいかは、指示に従って下さい。



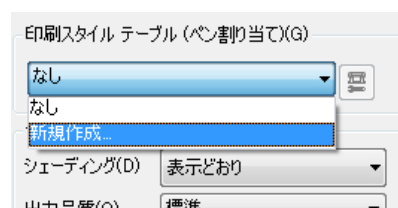
1.3 印刷スタイルテーブル

印刷スタイルテーブルは、既定値ではPC本体に保存されていますが、大会では各競技者に配布されるUSBメモリに保存されているものを使用する設定にされています。従って、各競技者は普段の作業で使用している印刷スタイルテーブルのファイルをUSBメモリ上にコピーしておく必要があります。

これは、カスタマイズされた印刷スタイルテーブルに対応するためです。各競技者に個別に配布されるUSBメモリに印刷スタイルテーブルファイルを保存しておくことで、各競技者専用の印刷スタイルテーブルで印刷できます。



USBメモリに印刷スタイルテーブルファイルが保存されていれば、印刷スタイルテーブルのドロップダウンメニューが表示されます。



USBメモリに印刷スタイルテーブルファイルが保存されていない場合は、印刷スタイルテーブルが表示されません。

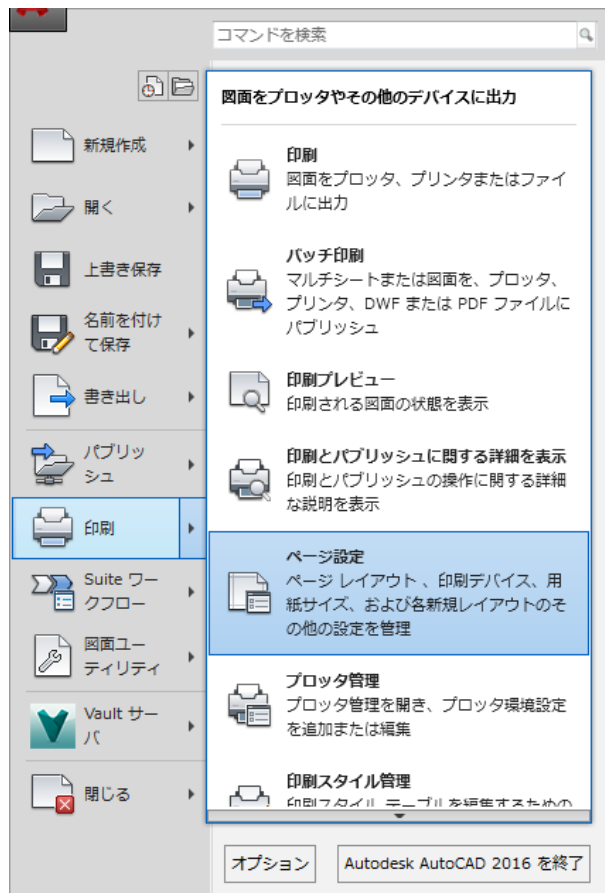
1.4 その他の設定

上記以外の設定は、いつもどおりの設定で構いません。

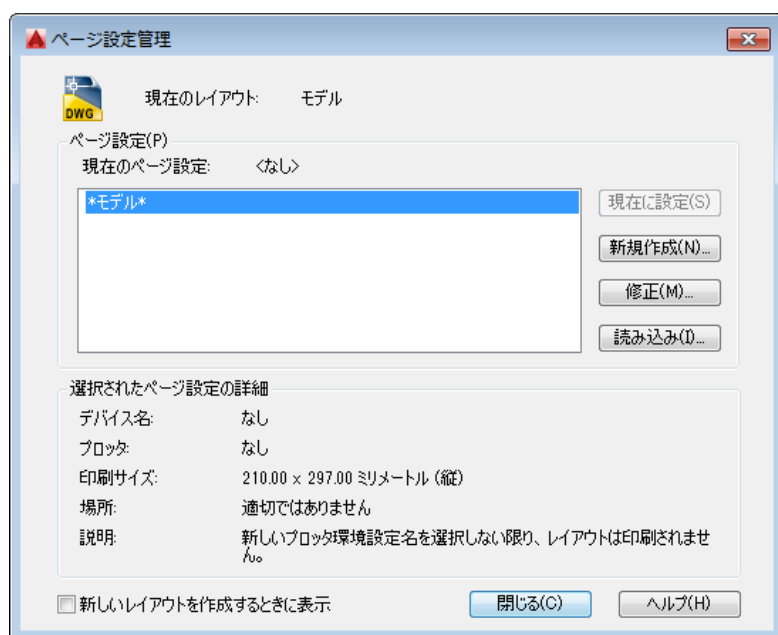
2 AutoCAD のページ設定

前項の通りに設定をすれば問題なく印刷できますが、これだけでは印刷のたびに設定をやり直す必要があります。AutoCADのページ設定の機能を使えば、印刷のたびに設定をやり直す個所を減らすことができます。

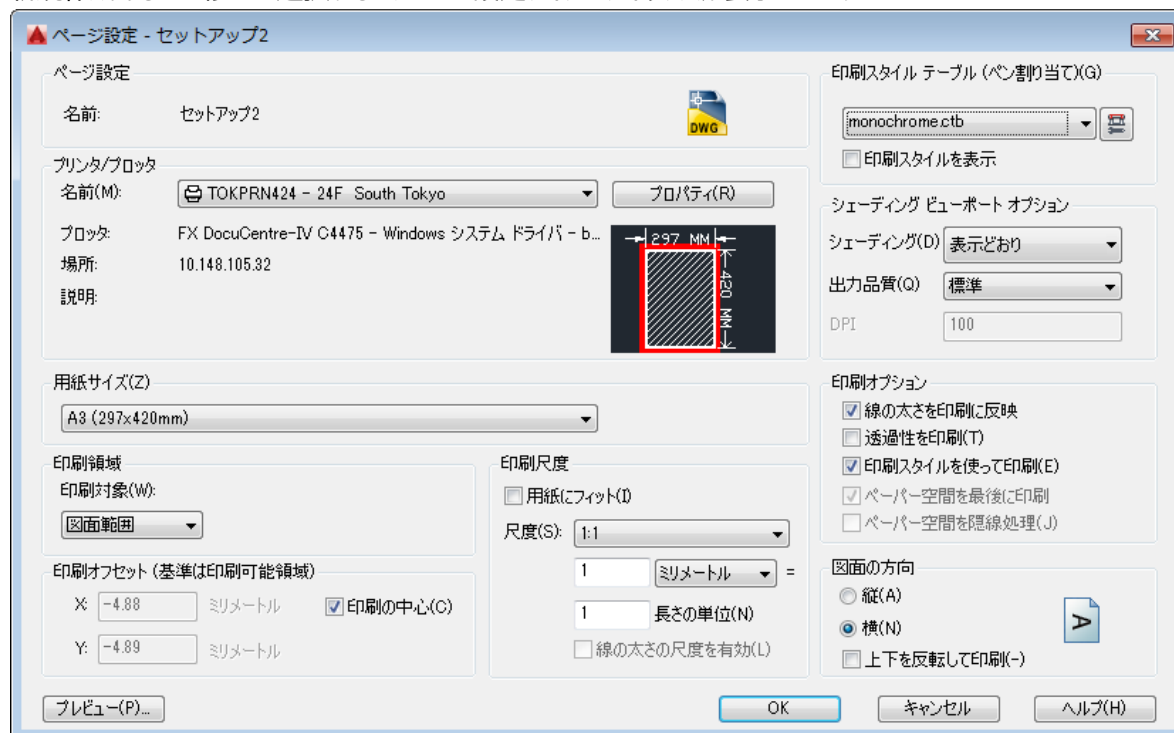
2.1 ページ設定 ダイアログボックス



モデル空間あるいはレイアウト空間を表示している状態で、ページ設定を実行すると、以下の様なダイアログボックスが表示されます。



新規作成あるいは修正を選択すると、ページ設定ダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスを使って印刷設定を行い、OKボタンで設定内容が保存されます。

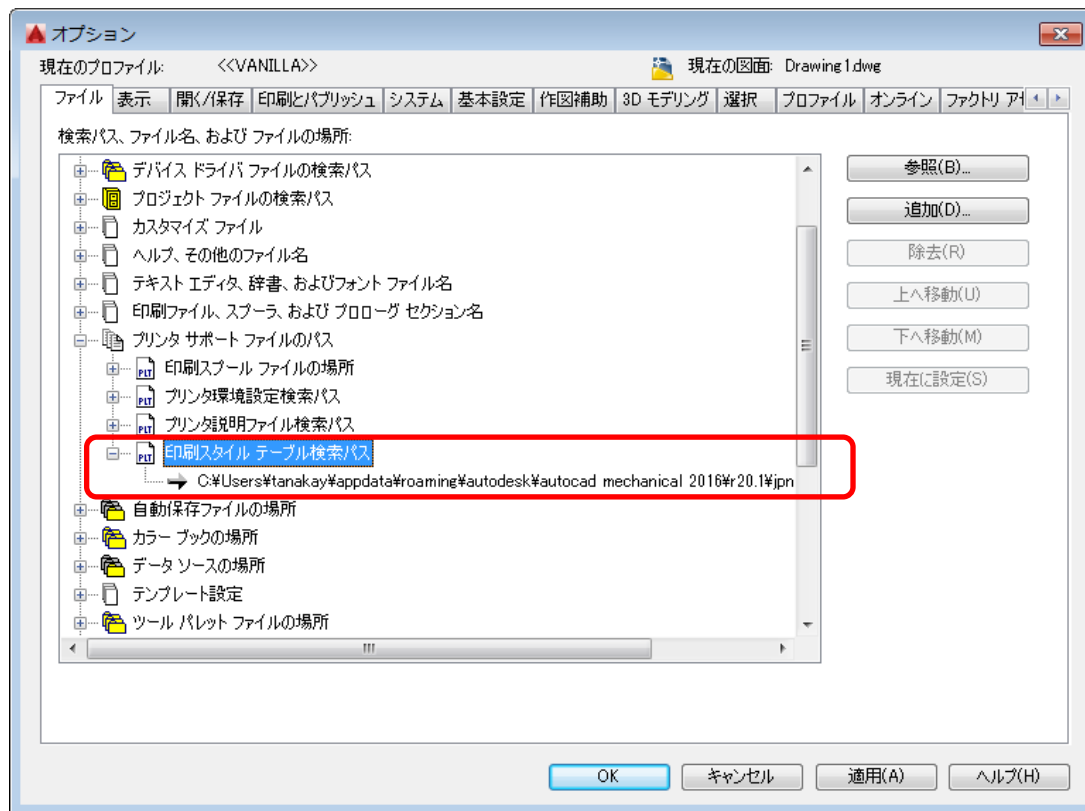
印刷コマンドを実行すると、このページ設定ダイアログボックスで設定された内容が、印刷ダイアログボックスに表示されます。設定をやり直す必要が無いので直ぐに印刷を実行することが出来ます。

競技前日の準備の時、実際の印刷環境で試し印刷ができます。この時に、ページ設定を保存したDWGファイルをUSBメモリ内に保存しておく事をお薦めします。

3 補足資料

3.1 印刷スタイルテーブルの場所

印刷スタイルテーブルの場所は、オプション設定のファイルタブ→プリンタサポートファイルのパス→印刷スタイルテーブル検索パスの項で変更出来ます。



印刷スタイルテーブルファイルは、図の印刷スタイルテーブル検索パスで指定されているフォルダにあります。USBメモリにコピーするときは、このフォルダから必要な印刷スタイルテーブルファイルをコピーします。